

平成30年度 岐阜県立多治見北高等学校 「生徒及び保護者等を対象とするアンケート」実施結果と分析

1 「生徒及び保護者などを対象とするアンケート」実施概要

- (1) 生徒アンケート（全員対象） 平成30年7月中に実施
- (2) 保護者アンケート（全員対象） 平成30年7月中に実施
- (3) 学校評議員アンケート（5名全員対象） 平成31年1月～2月に実施予定
- (4) 回答数：生徒708名、保護者601名、（学校評議員5名予定）

2 アンケートへの対応

- (1) 多治見北高等学校ホームページに掲載する
- (2) 教職員で検討し、学校運営に役立てる
- (3) 学校評議員会で提示する
- (4) 「自己評価」及び「学校関係者評価」の資料として活用する

3 結果の分析・評価

アンケートの有効な回答は、生徒は約99%（昨年度も99%）、保護者は約83%（昨年度79%）であった。昨年度と一部変更されているアンケート項目があり、単純な比較分析はできない。

全項目に対する肯定的な意見の割合は、平均すると生徒83%（昨年83%、一昨年79%）、保護者等80%（昨年79%、一昨年78%）であり、これまでと同様に肯定的な回答が多く、概ね本校の教育活動に理解が得られていると判断できる。また学年別に見ると、生徒・保護者とも学年があがるにつれて肯定的な評価の割合がわずかながら高くなっている。

(1) 生徒アンケートより

- ・ 生徒アンケートでは、肯定的な回答（AorB）が90%を越える項目は36項目中12項目ある。
- ・ 以下の項目は、昨年とほぼ同じ質問項目で昨年度と比べ有意（おおむね5%以上）に肯定的な回答が増加したものである。

項目 6「本校は、通信やHP等を用いて、様々な情報を速やかに伝えている。」+5

項目 16「総合的な学習の時間は有意義である。」+5

項目 24「本校では、外部講師の講演や様々な体験活動など授業以外の学習の機会が多い。」+5

項目 26「本校の学校行事（球技大会、学校祭等）は、充実している。」+23

項目 32「本校では、進路希望達成のための活動を支援し、学力の向上を図っている。」+7

<考察>

項目 16、24 の高評価は、昨年度から探究推進部を中心として進められているスーパーグローバルハイスクール事業による様々な取り組みが評価されたのではないかとと思われる。本校が進学校として特に注目すべき項目は最後の 2 項目（35,36）で昨年度に引き続き低い評価となっている。特に項目 36 は一昨年度まで 2 年連続で 7% の大幅減少であったが、昨年度は少し揺り戻した。しかし、今年度はまたやや低下し、肯定的評価が全項目の中で一番低く（AB で 51%）、学習塾に頼る生徒が全学年を通じて多い実態と一致している。「自主、自律、自学」を校訓とする本校としては、家庭での学習にじっくり取り組める生徒の育成に力を入れる必要がある。

(2) 保護者を対象とするアンケートより

- ・ 保護者アンケートでは、肯定的な回答（AorB）が平均 80% で、昨年より 1% 上昇し、比較的高い評価をいただいている。
- ・ 肯定的な回答が昨年度より 5% 以上上昇した項目は以下の 1 項目のみである。。

項目 17「学校は、体罰の防止に努めている。」+10

- ・ 次の項目では肯定的意見が 5% 以上減少している。

項目 6「学校からの連絡文書等は、保護者に確実に届けられている。」-6

項目 25「学校は、生徒の進路希望に沿った適切なアドバイスをしている。」-8

項目 26「学校は生徒の安全・衛生面に配慮し、交通事故や痴漢防止など安全指導をしている。」-5

項目 30「学校では、部活動が適切な管理体制のもとに、活発に行われている。」-8

項目 36「平日の家庭学習時間は最低でも 3 時間は確保されている。」-6

<考察>

項目 37 については生徒の結果と一致しているが、保護者の方がよりいっそう厳しい評価（AB 併せて 38%）になっている。項目 36 の家庭学習時間に関する質問項目も併せて見ると、多くの生徒が学習塾などに通っている実態が浮き彫りにされる。本校教育の根幹に関わることであり喫緊の検討課題である。今後も継続して実態把握をし、さらなる授業改善とともに、学校の取り組みや教育方針が生徒・保護者に伝わるよう情報提供や広報・啓蒙活動に努めることが大切である。